

## 新しい顔ぶれを交えて新年度スタート

こどもたちも職員も新しい顔ぶれを交えて新年度がスタートしました。1か月がたち新しい環境にもだいぶ慣れてきたようです。

こどもたちの保育環境をつくるうえで、職員の労働条件は大切な要素です。昨年やっと実現した完全週休2日制と給与改善をはじめとする職員の処遇改善をさらに前へ進めて、ゆったりとこどもたちに接することができる、そんな保育環境をつくっていききたいものです。

(社会福祉法人西淀川福祉会 理事長 門谷充男)



### 各園所のようす

#### 「ともだちはまだ一人やけどな…」

3月に卒園したこどもたちが、小学校の入学式後保育園に晴れ姿を見せにきてくれました。その後もよどっこに弟がいる〇〇くんは、時々お母さんと一緒にお迎えに来ています。

ある日の夕方、小学校のことを聞いていると、「ともだちはまだひとりやけどな、だいじょうぶやとおもう。みんなできるとおもう（クラス全員と友達になれる）」と話す姿をみて「安心」「頼もしい」気持ちになりました。3歳児の途中から転園してきて慣れるまでよく泣いていたことと、5歳児になっていろいろなことで葛藤していた姿を思い出し、「大きくなったなあ…」としみじみ感動もしました。小学校でもいろいろなことに挑戦し、新しい友達と成長する姿を楽しみにしています。

卒園してもOB会などでこどもたちの成長を見守っていきます。

(よどっこ保育園園長・高橋真澄)

#### だんだん慣れてきたこどもたち

園庭の桜が満開の中、桜の木の横にこいのぼりがあがりました。風が吹くと桜の花びらが舞い、こいのぼりが元気に泳ぐ姿にこどもたちは大喜びです。

8名の新しいお友だちを迎えて今年度がスタートしました。はじめは泣いていたお友だちも園庭で探索したり、近所の公園に出かけたり、好きなあそびを見つけて段々慣れてきています。

姫里コミュニティ広場では虫探しに夢中です。

春の花を見たり、ボールあそびやおにごっこをたっぷり楽しむことができ、「たのしかった～」といい顔のこどもたちです。

(みどり保育園園長・藤本恵美子)

### 子育てと仕事を両立できる 社会をめざして…

19人の新しいお友だちを迎え、2025年度の保育がスタートしました。当初泣いていた子も慣れてきてお友だちと笑顔を見せてくれるようになりました。新一年生たちは、制服、ランドセル姿で時々来てくれて、うれしい春です。

今年もいっぱい外で走り回り元気な身体づくりと「ともだちといっしょが楽しい」経験をいっぱいしながら、安心・安全で居心地のいい保育所づくりを進めていきたいと思えます。

今年度は民間委託を受けて5年目になります。5周年の節目として、佃保育園に関わってくださった人や修了児、保護者とともに楽しい取り組みができたらいいなと思っています。

職員も育休明けで2人復帰し、今年度産休に入る職員もいます。職員も保護者も子育てと仕事の両立ができる社会をめざして、保育所が子育て支援の一翼を担えるように地域に根差した保育所をめざしていききたいと思えます。

(佃保育園所長・永谷孝代)

「完全週休2日制・採用者一時金・初任給引上げ」をアピールした新しい採用パンフを作成。今年こそ職員体制充実を図りたい。(K)